奈良時代

名前

問1　古代の地方行政区分である五畿七道において、北陸道に属し、日本海に位置する島全体を一つの範囲とした令制国の名称として適切なものを選びなさい。（2018年 静岡県公立入試 類似）

1. 隠岐国
2. 能登国
3. 佐渡国
4. 対馬国

問2　奈良時代の文化を象徴する和歌集である『万葉集』の大きな特徴を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）

1. 後鳥羽上皇の命によりまとめられ、武士の台頭という社会の変化を反映した力強い歌風が中心となっている。
2. 紀貫之によって編纂された初の勅撰和歌集であり、ひらがなを用いた繊細な表現で貴族の生活が詠まれている。
3. 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられ、天皇から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。
4. 聖徳太子の時代から伝わる仏教の教えを、一般の人々にも分かりやすく伝えるための教訓歌が中心である。

問3　奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集について、その特徴を説明した文として正しいものを選びなさい。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 清少納言によって書かれた、宮中の様子や四季の情景を綴った随筆である。
2. 鎌倉時代に兼好法師によって書かれた、仏教的な無常観を背景とした随筆である。
3. 紀貫之らによって編集された、最初の勅撰和歌集である。
4. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。

問4　古代の肥後国（現在の熊本県）から絹が都へ納められたことを記録した木簡が発見されています。このように、律令国家において地方の特産品を都へ納めさせた税の仕組みについて説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 都での年間10日間の労役に代えて布などを納めさせた税で、庸と呼ばれる。
2. 地方の農民に年間60日を限度として無償で土木工事などを行わせた負担で、雑徭と呼ばれる。
3. 田の面積に応じて収穫した稲を納めさせた税で、租と呼ばれる。
4. 地方の特産品を都へ納めさせた税で、調と呼ばれる。

問5　日本の仏教史において、奈良時代に行われた「国分寺・国分尼寺の建立」よりも後の時代に起こった出来事として適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、その中で仏教を敬うよう示した
2. 加賀の一向一揆に代表されるように、浄土真宗の門徒が守護大名を倒して自治を行った
3. 仏教が伝来した直後、崇仏派の蘇我氏と廃仏派の物部氏が激しく対立した
4. 平城京内に大規模な寺院が立ち並び、僧侶が政治に深く関与するようになった

問6　奈良時代の聖武天皇は、飢饉や疫病の流行、政治の混乱といった社会の不安を取り除くため、仏教を深く信仰して国を安定させようと考えました。このような「仏教の力によって国家を守ろうとする思想」を何といいますか。（2019年 香川県公立入試 類似）

1. 神仏習合
2. 王土王民
3. 本地垂迹
4. 鎮護国家

問7　8世紀の日本では、仏教の教えが広まる一方で、僧侶が守るべき厳格な規律が整っていないという課題がありました。この状況を改善するために、聖武天皇の招きに応じ、5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて唐から来日した高僧は誰ですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 最澄
2. 空海
3. 鑑真
4. 行基

問8　奈良時代の律令国家において、都に近い地域と遠い地域で「労役（労働による負担）」の日数に差が設けられていた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 都に近い地域は土地が肥沃で食料が豊富だったため、都での労働に従事する人々の食料を自給させやすかったから。
2. 都に近い地域は移動の負担が少ないため、その分、実際の労働に従事させる日数を増やすことで労働力を確保しようとしたから。
3. 都から遠い地域ほど人口が多く、一人あたりの労働日数を減らしても十分な労働力を確保することができたから。
4. 都から遠い地域では、外敵の侵入に備える兵役の負担が非常に重かったため、都での労役はすべて免除されていたから。

問9　奈良時代の律令制度において、地方の特産物である絹や布、あるいは各地で採れる海産物などを中央の都（平城京）まで運び、納めることが義務付けられていた税を何というか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 庸
2. 調
3. 租
4. 雑徭

問10　平城京が建設され、和同開珎などの貨幣が発行される一方で、当時の社会では伝染病の流行や政治的な対立が続いていました。このような不安定な情勢に対し、聖武天皇が東大寺に大仏を建立し、全国に国分寺を配置した目的として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 岐阜県公立入試 類似）

1. 唐などの外国からの侵攻を想定し、寺院を軍事的な拠点とするため
2. 律令に基づき、農民に与えた土地の私有化を恒久的に認めるため
3. 貨幣の流通を促進させるため、寺院を金融の窓口として利用するため
4. 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため

問11　千葉県市原市にある「上総国分尼寺跡」のような寺院は、仏教の力で国家を守ろうとした聖武天皇の命令によって全国に建立されました。このように仏教による統治が進められた時代に、土地制度において生じた変化として正しいものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 開墾した土地の永代私有が認められ、公地公民の原則が崩れ始めた。
2. 土地の売買が全面的に禁止され、班田収授の仕組みが厳格に守られた。
3. すべての土地の測量が行われ、農民に直接年貢を負担させる制度が確立した。
4. 武士が地方の領主として台頭し、独自の知行国を支配するようになった。

問12　発掘調査で見つかった木簡（もっかん）という木の札に、「備前国（現在の岡山県）から調として塩を納める」といった旨が記されていることがあります。このように、地方の特産物を都へ納めた税の仕組みとして正しい説明はどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 各地の特産物を、負担者が自ら都まで運んで中央政府に納めた。
2. 都での年間10日間の労働の代わりに、布などを都へ納めた。
3. 口分田の面積に応じて課せられ、収穫した稲の約3%を地方の倉庫に納めた。
4. 地方での土木工事や役所の雑用などに、年間60日を限度に従事した。

問13　平城京から平安京へ遷都するまでの期間（奈良時代）の出来事として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 天皇中心の政治を確立するため、聖徳太子によって冠位十二階や十七条の憲法が制定された
2. 地方の武士団が勢力を強め、関東では平将門が自ら「新皇」と称して朝廷に反旗を翻した
3. 聖武天皇の命により、仏教による国家の安泰を祈願して全国に国分寺・国分尼寺が建てられた
4. 菅原道真の建議によって遣唐使が停止され、国風文化が全盛期を迎えた